

伊賀市議会だより

No.69
2022.5.1



史跡芭蕉翁生家

平成30年度から老朽化した建物の保存改修及び耐震補強のため休館していた芭蕉翁生家は、改修工事を終え、令和4年4月1日から再び開館しました。



青山複合施設

伊賀市の青山複合施設（愛称「アオーネ」）が令和4年3月22日に開庁しました。



●令和4年4月臨時会●

市議会の新しい体制が決まりました

副議長



にしぐち かずしげ
西口 和成

議長



ちかもり まさとし
近森 正利

監査委員



やました のりこ
山下 典子

議長・副議長 あいさつ

このたび、4月の臨時会におきまして、議長・副議長に就任いたしました。

コロナ禍が長期化する状況下において、地域経済への支援や感染防止、衛生対策、新たな日常、新しい生活様式に対応した未来に続く対策など、状況の変化をとらえた支援が求められています。

このような中、議会におきましては、ウィズコロナ、アフターコロナへの経済対策の提言のほか、DX・ICT化、市議会議員と市長選挙の同日実施の検討など「市民に開かれた、信頼される議会」を目指し、議会改革に取り組んでまいります。

市民の皆さまのご理解とご協力を賜りますようお願いいたします。

◎…委員長 ○…副委員長

予算・決算常任委員会

予 算

予算及びこれに関する事項を所管

◎西口 和成 ○川上 善幸
委員は議長を除く21議員

決 算

決算及びこれに関する事項を所管

◎西口 和成 ○川上 善幸
委員は議長と監査委員を除く20議員

議会運営委員会



議会を円滑・能率的に行うため、日程や審議内容を審査

◎中谷 一彦
○市川 岳人
川上 善幸
宮崎 栄樹
桃井 弘子
上田 宗久

その他組合等議会



伊賀南部環境衛生組合

青山地域と名張市のごみ処理、し尿処理施設の管理運営に関する事項を審議

川上 善幸 西口 和成
宮崎 栄樹 中谷 一彦



三重県後期高齢者医療広域連合

三重県内の後期高齢者医療制度の運営に関する事項を審議

近森 正利

常任委員会委員

◎…委員長 ○…副委員長

※議長は、常任委員会には所属しません。

総務常任委員会



総務部、企画振興部、財務部、地域連携部、人権生活環境部、デジタル自治推進局、防災危機対策局、出納室などの事項、その他の委員会に属さない事項を所管



◎川上 善幸



○増田 雄



北山太加視



森中 秀哲



福岡 正康



中谷 一彦



百上 真奈

教育民生常任委員会



健康福祉部、上野総合市民病院、教育委員会の事項を所管



◎北森 徹



○西田 方計



釜井 敏行



濱瀬 達雄



桃井 弘子



市川 岳人



赤堀 久実

産業建設常任委員会



産業振興部、建設部、消防本部、上下水道部などの事項を所管



◎上田 宗久



○西條エリ子



西口 和成



宮崎 栄樹



山下 典子



田中 覚



中岡 久徳

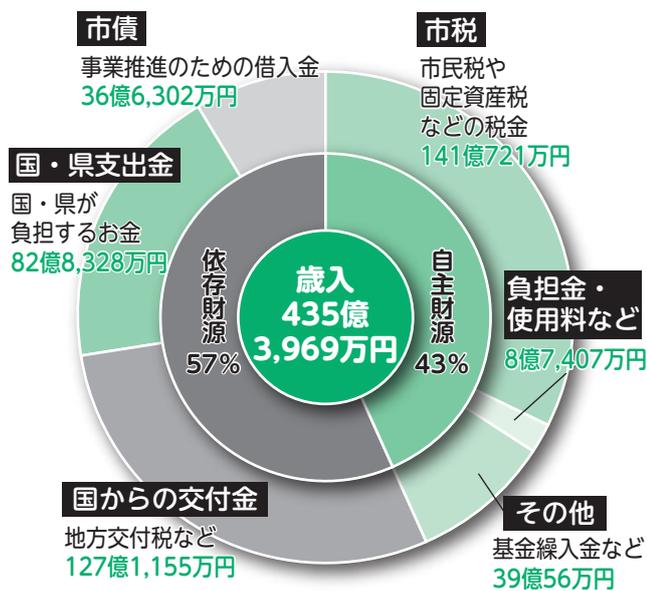
令和4年度一般会計予算

「新たな成長・活力・価値創造予

予算議案は、議長を除く全議員で構成する予算常任委員会に

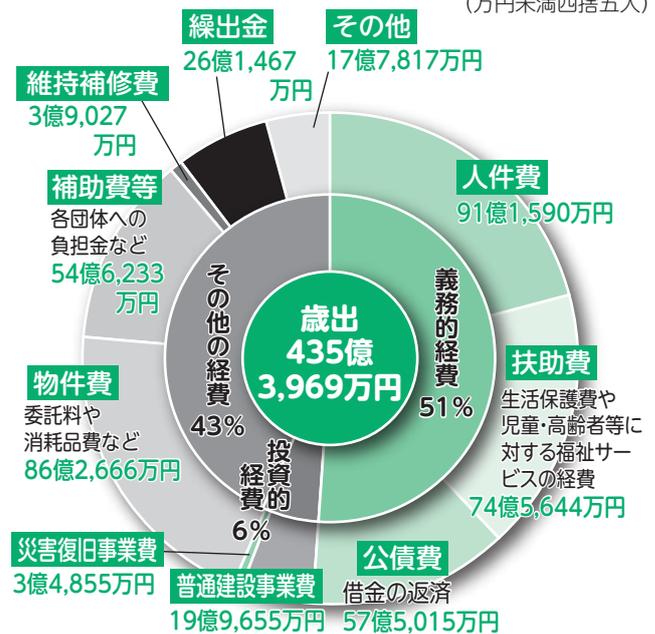
一般会計歳入予算の内訳

(万円未満四捨五入)



一般会計歳出予算の内訳

(万円未満四捨五入)



予算の主な事業

こども

●保育所等整備費補助金	2億 3,508万 2千円	いなこ保育園施設整備補助金
●保育所施設改修工事費	1億 524万 8千円	大山田保育園、あやま保育所自園給食対応改修
●通学路整備事業	2,562万円	交通安全プログラムで確認された通学路等の危険箇所の改良工事

くらし

●窓口業務経費	9,192万 1千円	おくやみ窓口設置経費など (システム導入及びおくやみハンドブック作成)
●合併処理浄化槽設置及び管理事業	1億 2,021万 4千円	合併処理浄化槽設置整備事業補助金など

にぎわい

●商工振興経費	5億 1,414万 7千円	産業振興条例制定経費、地域総合整備資金貸付金など
●忍者市プロジェクト事業	6,353万 5千円	忍者体験施設設計業務委託料など

SDGs

●臨時地方道整備事業	3,000万円	道路照明灯修繕工事費 (LED化)
------------	---------	-------------------

DX

●スマート自治体推進事業	3,659万 1千円	行政証明スマート申請決済サービス導入費、web 口座振替受付サービスシステム導入費など
--------------	------------	---

防災・減災

●直轄管理河川改修事業	1億 6,461万 3千円	ポンプ場設備更新工事費
-------------	---------------	-------------

昨年度より9億8,649万円増

435億3,969万円を可決

算」を議会が厳しくチェック！

付託され、3月14日、15日、16日の3日間にわたって審査を行いました。

用語解説

- 自主財源** 市税、使用料、手数料、財産収入など市が自主的に調達できる財源です。
- 依存財源** 国や県の基準に基づき交付されたり、割り当てられたりする財源です。
- 義務的経費** 支出が法令などで義務付けられていて、任意に削減できない経費です。
- 投資的経費** 道路、橋梁、学校、公園等各種社会資本整備に要するものであり、支出の効果が長期にわたる経費です。

令和4年度一般会計

- 当初予算総額は？ **435億3,969万円**
 - 今年度の借金(市債)は？ **36億6,302万円**
 - 今年度の借金(市債)の償還額は？ **約55億1,000万円**
(元金のみ)
 - 令和4年度末の借金残高(市債残高)の見込み額は？ **約509億円**
(市民一人あたり換算で**58万円**)
 - 令和4年度末の預金残高(基金残高)見込み額は？ **約153億円**
(市民一人あたり換算で**17万円**)
- ※人口 令和3年12月31日現在 88,333人

一般会計予算にかかる質疑(委員会)

文化芸術推進費

問 岸宏子生誕100年記念事業、元永定正生誕100年記念事業の詳細は。

答 故岸宏子さんの代表作の複製本作成、記念講演会開催、ブックレビューの募集などを行います。また、故元永定正さんについては、崇広堂において記念展覧会などを行います。

広聴広報業務経費

問 広聴機能の充実は。

答 市政や市民生活に関わる課題について、インターネットを活用したアンケートに回答していただく市民モニターであるeモニター制度を今年度から創設しました。389人の方に登録していただいております。寄せられた声を行政課題や事業の視点として参考にしていきたいです。

関西圏誘客促進事業委託料

問 関西圏誘客促進事業の詳細は。

答 国内外からの来訪が期待できる2025大阪関西万博を見据えた誘客事業に取り組んでいくため、関西圏誘客促進の具体的な中期戦略を策定したいと考え、戦略策定に必要な実地調査費用52万8千円、プロモーション事業として関西圏で誘客イベントを開催する費用として550万円を計上しています。

討論(本会議)

反対

長引くコロナ禍、原油価格の高騰、ウクライナでの戦争などにより、今以上に市民生活や地元の企業、商店などに深刻な影響が及んでくる。当初予算には含まれていないが、財政調整基金や新型コロナ対応地方創生臨時交付金等を活用し、いのちと暮らしと営業を守る対策、支援策の実施を強く求める。

賛成

市民生活に直結するような案件については、パブリックコメントやアンケートをとるなど、もっと市民の声に真摯に丁寧に向き合っていただきたい。

令和4年度一般会計補正予算 1,431万9千円減

委員会審査において、条例改正を経ずに指定ごみ袋の料金改定を見込んだ経費が計上されているとの指摘があり、この経費を減額修正するなどとした補正予算第1号が提出され、全員賛成で可決されました。

伊賀市自治基本条例の一部改正について

全員賛成で
可決

伊賀市自治基本条例審議会から受けた答申を踏まえ、改正を行います。

質疑（委員会）

問 審議会やパブリックコメントで意見の分かれた箇所で、答申には「必要に応じて専門的見地から意見を求める」とあるが、具体的にはどのようにするのか。

答 現時点で具体的にはどのような手法で行うかは未定であるが、審議会から求められていることなので、事務局としてしっかりサポートしていきたい。

問 見直しのスケジュールは。また、随時見直しは行っていくのか。

答 見直しは今年度末を目標に進めてきました。人権の視点、住民自治のしくみについてどのように入れていくのか、議論をしっかりしていきたいです。

討論（本会議）

賛成 住民自治のしくみについても大事であるし、合併以後の現状をしっかりと検証し見直していくことが大事である。市民全体の意見を大切にしながら進めていってほしい。

伊賀市国民健康保険税条例の一部改正について

賛成多数で
可決

国民健康保険税の税率の変更と未就学児の被保険者均等割額の減額のため、新たに規定を設けます。

質疑（委員会）

問 滞納者に対するの減免措置の周知はしているか。

答 ホームページ上に減免措置の記事を載せています。また、窓口に来られた方には説明をしています。

討論（本会議）

反対 コロナ禍により深刻な影響を受けている年金生活者、自営業、非正規労働者等が加入する国民健康保険税の2年連続引き上げは、命と暮らしを脅かすもので、認められない。国民健康保険の加入者は、所得が低くて医療を必要とする高齢者が多く、他の医療保険には無い世帯や被保険者の人数に対し賦課される平等割額と均等割額の負担が大変重くなっている。公費を使ってでも、コロナ禍における引き上げは先延ばしすべきである。また、国が未就学児に限って均等割額を半額軽減したのは、子育て世代の負担軽減を図ろうとするものだが、就学すれば保険税額は元に戻り、重い負担に変わりはないため、国民健康保険制度の抜本的な見直しが必要である。
なお、滞納者に対し、納付相談の努力をしていただいていることについては評価するが、実質保険証の取り上げである資格証明書の発行は止め、短期保険証の発行も極力止めることを求める。

伊賀市消防団員の定員、任免、給与、服務等に関する条例の一部改正について

全員賛成で
可決

消防団員の処遇改善を図るため、令和3年4月に消防庁から示された基準により、報酬を年額報酬と出勤報酬の2種類に改め、報酬金額を引き上げます。

質疑（委員会）

問 報酬額を上げる目的は何ですか。

答 災害の多発、激甚化に伴う団員の増強と地域でバラつきのある処遇の統一化を目指すためです。

問 団員の増強を図るためには、第3次伊賀市消防団活性化計画にある『魅力ある消防団づくり』が必要であるが、どう思われますか。

答 やりがいのある活動となるよう消防団と協議しており、過度な負担を求めず技術を身に付けてもらえるよう図っていきます。

問 国が示す報酬の標準額には達していない理由と今後の引き上げの方針を教えてください。

答 財政上可能な範囲での引き上げとなりましたが、今後も財政状況等を踏まえて段階的に見直していきます。

伊賀市職員の特殊勤務手当に関する条例の一部改正について

全員賛成で
可決

看護師の勤務形態を変則3交替制から2交替制に変更するに当たり、夜勤にかかる特殊勤務手当の見直しを行います。

質疑 (委員会)

問 小さな子どもがいる看護師たちの意見はどのようなものがあったか。

答 今まで以上に勤務時間が長くなることで、子どもの顔が見れない時間が長くなるという意見等があったため、夜勤を2回に分けて0時30分からの勤務を新たに設けることとしました。

問 今回の勤務体系の変更により、看護師確保や働き方改革につながっていくと考えるか。

答 出勤日数が少なく生活リズムも組みやすくなるため、今後の新しい看護師確保にもつながると考えます。

討論 (委員会)

賛成 今回の条例改正により、全体としては看護師の負担軽減となり、説明会や協議等を行い看護師の要望も一定反映されていることから賛成するが、長時間勤務になるため、慣れるまでの事故防止や、看護師の心身のケアについてもしっかりと配慮していただきたい。

討論 (本会議)

賛成 2交替制勤務の場合、次の勤務までのインターバルが確保されることは、身体を休めリフレッシュにつながる。また、夜間の看護師が2人勤務体制から3人勤務体制に変わることは、患者側の立場としても、より安心して医療を受けることができるようになる。

土地の処分について (新堂駅前複合施設整備事業)

全員賛成で
可決

新堂駅前複合施設整備事業により、新堂駅周辺の市有地9筆を売却します。

質疑 (委員会)

問 土地単価の算定根拠は。

問 鑑定評価は何社行ったか。

問 地元への説明は行ったか。

答 鑑定評価に基づく単価です。

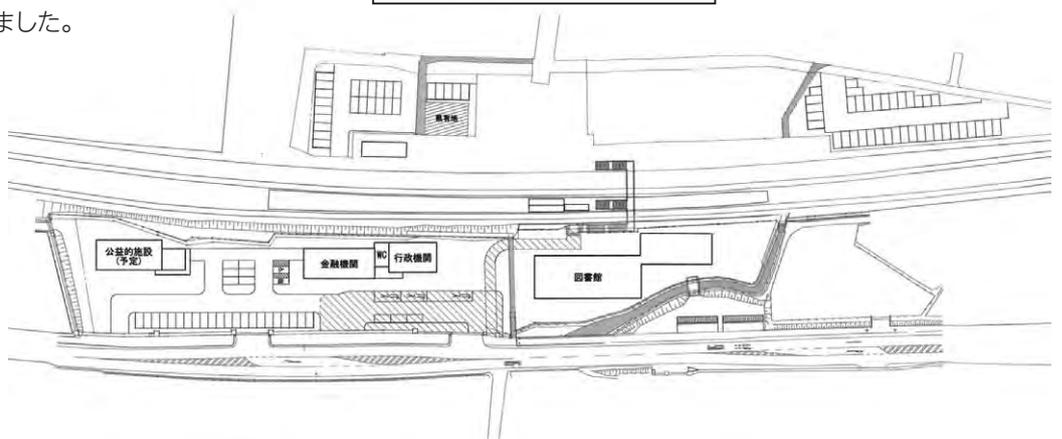
答 1社で実施しました。

答 説明会は7回実施しました。

問 鑑定評価は誰が実施したか。

答 業務を発注して行いました。

新堂駅前複合施設整備事業計画図



(1月18日議員全員協議会資料)

指定管理者の指定

全員賛成で
可決

対象施設	指定管理者	指定管理期間
島ヶ原ふれあいの里	一般財団法人しまがはら郷づくり公社	令和4年4月1日から令和7年3月31日まで
伊賀の国大山田温泉	一般社団法人大山田温泉福祉公社	

ロシアによるウクライナ侵攻に厳重に抗議する決議

全員賛成で

可決

令和4年2月24日にロシアがウクライナへ軍事侵攻を行ったことについて、厳重に抗議すると共に犠牲になられた方々へ哀悼の意を表し、日本政府に対して現地在留邦人の安全確保とロシア軍撤退に向けた取り組みを求める決議を全会一致で可決しました。

(決議文)

令和4年2月24日、ロシアはウクライナへの軍事侵攻を行った。このことは、国際社会の平和と秩序、安全を著しく脅かし、人命を軽視するものであり、断じて容認できない暴挙である。

また、ウクライナに拠点を持つ日本企業をはじめ、現地在留邦人も緊迫した状況の中で厳しい状況に置かれており、我が国にとっても決して無関係ではない。

このような力による一方的な現状変更への試みは、国際連合憲章をはじめとする国際法に明白に違反する行為であり、国際秩序の根幹を揺るがすものであって、強く非難されるべきものである。また、核兵器の使用を示唆して威嚇したことは言語道断であり、非戦闘員である民間人に多くの被害が出ていることも痛恨の極みである。

よって、本市議会は、非核平和都市宣言をする伊賀市として、ロシアによる侵攻の犠牲となられた方々に哀悼の意を表するとともに、ロシア政府に対し、ウクライナへの軍事侵攻に厳重に抗議し、世界の恒久平和の実現に向け、国際法に基づく誠意ある対応と核兵器の使用を示唆した威嚇及び核兵器の使用は行わないことを強く求めるものである。

また、政府において、現地在留邦人の安全確保に努め、我が国への影響を最小限にとどめるための対策に万全を尽くすとともに、国際社会と緊密に連携し、即時無条件でのロシア軍の完全撤退の実現に向けて、毅然たる態度でロシア政府に臨み、制裁措置の徹底及び強化を図ることを求めるものである。

以上、決議する。 令和4年3月7日 三重県伊賀市議会

※この決議をうけて、3月25日に伊賀市議会では有志議員により募った22万円の支援金を、国連UNHCR協会へお送りしました。

令和3年度一般会計補正予算(第10号) 4,015万4千円の減

全員賛成で

可決

決算見込みによる補正を中心に、国の「コロナ克服・新時代開拓のための経済対策」によって措置された事業の補正や普通交付税の再算定による変更などを補正します。

【補正予算の主なもの】

〈歳入〉

●普通交付税

臨時財政対策債償還基金、臨時経済対策費、調整率分 7億1,919万9千円

〈歳出〉

●伊賀鉄道活性化促進事業

交通系ICカード対応設備工事委託料など 1億5,439万円

●放課後児童対策事業

(仮称)依那古放課後児童クラブ整備事業補助金 3,112万6千円

●決算見込み関連の主な事業費(増額)

扶助費(過年度国庫支出金精算返還金) 1億3,676万2千円

自立支援等給付事業(介護・訓練等給付費) 1億4,324万4千円

伊賀線経営安定化等基金積立金 2億9,990万2千円

減債基金積立金 5億1,693万円

●決算見込み関連の主な事業費(減額)

三重国体伊賀市実行委員会負担金 △3億633万9千円

私立保育所施設整備事業(保育所等整備費補助金) △7,075万5千円

現年発生公共土木施設災害復旧事業 △9,755万2千円

●新型コロナウイルス対策関係

新型コロナウイルス感染症対策基金積立金 △1億1,973万9千円

子育て世帯臨時特別給付金 △1億220万円

子育て世帯生活支援特別給付金 △3,405万円

質 疑 (委員会)

問 放課後児童対策事業の指定管理料増額となっている理由は。

答 支援員の処遇改善として常勤換算で月額9,000円程度の引き上げを行うためです。

問 土地建物売却収入について、新堂駅前の土地売却は都市マスタープランとの整合は取れていますか。

答 都市マスタープランに沿って事業を進めています。

問 違約金による収入の内訳は。

答 生産管理道路の工事において、工期途中で企業が倒産したことによる違約金です。

審議した議案と各議員の賛否

3月定例会

○：賛成 ×：反対 欠：欠席 一：採決に入っていない

件名	賛成： 反対	議決結果	金井	北山	西條	西田	濱瀬	増田	森中	川上	北森	西口	福岡	宮崎	桃井	山下	市川	赤堀	田中	上田	近森	中谷	百上	中岡		
			敏行	太加	エリ	方計	達雄	雄	秀哲	善幸	徹	和成	正康	栄樹	弘子	典子	岳人	久実	覚	宗久	正利	一彦	真奈	久徳		
令和4年度伊賀市一般会計予算	18：2	可決	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	欠	
令和4年度伊賀市国民健康保険事業特別会計予算	18：2	可決	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	欠
令和4年度伊賀市介護保険事業特別会計予算	18：2	可決	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	欠
令和4年度伊賀市後期高齢者医療特別会計予算	18：2	可決	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	欠
伊賀市公告式条例の一部改正	15：5	可決	×	○	○	×	○	○	×	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	欠	
伊賀市職員の給与に関する条例の一部改正	18：2	可決	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	欠	
伊賀市短時間勤務会計年度任用職員の報酬、期末手当及び費用弁償に関する条例の一部改正	17：3	可決	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	欠	
伊賀市国民健康保険税条例の一部改正	18：2	可決	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	欠	

全員賛成で可決（同意を含む）した議案（中岡議員は欠席のため採決に入っていない）

市長 提出議案	<ul style="list-style-type: none"> ● 令和4年度伊賀市住宅新築資金等貸付特別会計予算 ● 令和4年度伊賀市駐車場事業特別会計予算 ● 令和4年度伊賀市サービスエリア特別会計予算 ● 令和4年度伊賀市病院事業会計予算 ● 令和4年度伊賀市水道事業会計予算 ● 令和4年度伊賀市下水道事業会計予算 ● 令和4年度伊賀市島ヶ原財産区特別会計予算 ● 令和4年度伊賀市大山田財産区特別会計予算 ● 令和3年度伊賀市一般会計補正予算（第10号） ● 令和3年度伊賀市国民健康保険事業特別会計補正予算（第3号） ● 令和3年度伊賀市住宅新築資金等貸付特別会計補正予算（第2号） ● 令和3年度伊賀市駐車場事業特別会計補正予算（第2号） ● 令和3年度伊賀市介護保険事業特別会計補正予算（第2号） ● 令和3年度伊賀市サービスエリア特別会計補正予算（第1号） ● 令和3年度伊賀市後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号） ● 令和3年度伊賀市病院事業会計補正予算（第4号） ● 令和3年度伊賀市水道事業会計補正予算（第2号） ● 令和3年度伊賀市下水道事業会計補正予算（第2号） ● 令和3年度伊賀市島ヶ原財産区特別会計補正予算（第1号） ● 令和3年度伊賀市大山田財産区特別会計補正予算（第1号） ● 伊賀市犯罪被害者等支援条例の制定 ● 伊賀市環境保全負担金条例等の一部改正 ● 伊賀市職員のサービスの宣誓に関する条例の一部改正 	<ul style="list-style-type: none"> ● 伊賀市職員の育児休業等に関する条例の一部改正 ● 伊賀市自治基本条例の一部改正 ● 伊賀市体育施設条例の一部改正 ● 伊賀市駐車場条例の一部改正 ● 伊賀市新型コロナウイルス感染症対策基金の設置、管理及び処分に関する条例の一部改正 ● 伊賀市債権管理条例の一部改正 ● 伊賀市環境基本条例の一部改正 ● 伊賀サービスエリアの設置及び管理に関する条例の一部改正 ● 伊賀市消防団員の定員、任免、給与、服務等に関する条例の一部改正 ● 伊賀市消防団員等公務災害補償条例の一部改正 ● 伊賀市職員の特種勤務手当に関する条例の一部改正 ● 指定管理者の指定（島ヶ原ふれあいの里・伊賀の国大山田温泉） ● 辺地に係る総合整備計画の策定 ● 専決処分の承認 ● 工事請負契約の締結 ● 土地の処分 ● 工事請負契約の締結 ● 令和4年度伊賀市一般会計補正予算（第1号） ● 人権擁護委員候補者の推薦（中ひとみ氏、山崎和憲氏、井上順子氏、中島和徳氏、川出敦子氏）
議員 提出議案	<ul style="list-style-type: none"> ● ロシアによるウクライナ侵攻に厳重に抗議する決議 ● 伊賀市議会委員会条例の一部改正 	

4月臨時会（4/14）

○：賛成 欠：欠席 除：除斥 一：採決に入っていない

件名	賛成： 反対	議決結果	北山	金井	西條	西田	濱瀬	増田	森中	川上	北森	西口	福岡	宮崎	桃井	山下	市川	赤堀	田中	上田	近森	中谷	百上	中岡	
			太加	敏行	エリ	方計	達雄	雄	秀哲	善幸	徹	和成	正康	栄樹	弘子	典子	岳人	久実	覚	宗久	正利	一彦	真奈	久徳	
専決処分の承認（市税条例等の一部を改正する条例）	20：0	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠
専決処分の承認（国民健康保険税条例の一部を改正する条例）	20：0	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠
監査委員の選任	19：0	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	除	○	○	○	○	一	○	○	欠	

ここが聞きたい



市政を問う



一般質問

一般質問は、3月3日、4日、7日の3日間で、17人の議員が市の諸問題についての質問をしました。その主なものを掲載しています。

QRコード▶



【QRコード】で市議会ホームページから「伊賀市議会チャンネル」(YouTube)をご覧ください。

山下典子 議員

質問項目

- ふるさと納税
- 防災情報のあり方
- 新岡波総合病院へのアクセス
- 水利用



問 防災情報システムの概要は

防災情報システムの構築の進捗状況と新しいシステムの概要は。

答 令和4年4月から運用します

伊賀市防災情報システムは土砂災害警戒情報や河川の水位の気象データを自動的に取得して避難情報の発令を支援するシステムと、避難情報等を緊急速報メール等に一斉発信できるシステムで構成されています。今回導入する防災アプリは避難情報についてプッシュ型通知とし、39住民自治協議会別に発令できます。

問 来年1月開業の新岡波総合病院へのルート整備は

昨年、猪田・比自岐・依那古住民自治協議会から出された「上野南部地区の横断・環状道路の整備について」の要望書に対する取組は。

答 県に強く要望します

新たなバイパス道路の整備計画の早期策定を要望します。

問 地下水条例の制定を

企業の地下水の利用状況を調査するための条例を。

答 条例をつくります

地下水利用状況の報告義務を負っていたような条例をつくります。

濱瀬達雄 議員

質問項目

- 市民からの声



問 1週間毎日楽しめるにぎわいの創出は

2024年に忍者体験施設が市街地に出来ますが、親子世代で楽しめる全天候型遊戯施設や忍者をモチーフにした公園が市街地に点在することにより市民も毎日楽しめなにか。

答 民間事業者にも市民の要望を伝えたいと思います

忍者回廊事業や忍者施設の事業者との進捗管理の対話の中で、市と市民の思いとして伝えていきたいと思っています。

問 子どもを取り巻く学校環境の改善を

子どもは先生と一対の鏡であると思うが、先生の労働環境のブラック化が問題になっているため、先生の子どもへの対応が希薄になる様に思うが、ノー残業デー等の処遇改善を。

答 先生が自分にかえる 家庭にかえる 地域にかえる

喫緊の課題として、教職員の健康障がい防止し、教職員が元気に笑顔で子どもたちに向き合えるように取り組んでいます。

☆一般質問☆ 本文は、質問者が執筆したものを掲載しています

一般質問

田中 覚 議員

質問項目

- 伊賀市政の信頼度 (その4)



問 市長ご就任10年の節目

伊賀の国づくりは、今までの行政主体から、多様な主体と共に進んでいきますか。

答 共創

この10年世の中は大きく変革し、行政と地域住民の関係も新しい認識や価値観を共有し、共に汗を流していくことが多くなっていくと思います。

問 伊賀市を救う施策を (GX)

本市は、J-クレジットの発電事業者になり、企業と連携しませんか。

答 公共施設等適正管理推進事業費は、新たに脱炭素化事業が加わり積極的に推進していきます

問 メタバースは新しい発想 (DX)

5支所の人件費を除く維持費は、約2,400万円。デジタル技術の整備に使うべきです。

答 デジタルは、距離や時間を越えて、本庁や支所の在り方も変わります。しかし直ちには無理がありますが、メタバースを本市の発展につなげていきます

問 財産管理に共創の理念を (FM)

公共施設の処分方法に一貫性がありません。市民の方から提案をいただく方法に変えて行くべきではありませんか。

答 新たな方法として、民間のアイデアを積極的に取り入れていきます

宮崎 栄樹 議員

質問項目

- 戦略的な青山地域のまちづくり
- 新型コロナワクチン接種の副反応
- 市役所の「しくみ」を変えよう！



問 青山地域で「リノベーションまちづくり」を

青山地域は、近鉄沿線のアクセスの良さや初瀬街道があることなどの潜在的な地域資源を活かすことができれば、伊賀市南部地域を牽引していくエリアになると考えます。民間主導の※リノベーションまちづくりという手法で、まちづくりを実行してはいかがでしょうか。

答 地域と検討していく必要があります

市内の横の連携を重視しつつ、青山地域が過疎地域に指定されたことも含めて、地域とともに検討していく必要があると考えます。

問 ワクチン接種「努力義務適用外」の情報提供を

2月10日、厚労省は5～11歳への新型コロナワクチン接種を「努力義務」としない方針としましたが、保護者等に的確に情報提供していく必要がありますか。

答 説明資料を配布しています

保護者に対して、接種について検討していただく厚労省の説明資料を、接種券封筒に同封しています。また、市のホームページなどでもお知らせしています。

※リノベーションまちづくり…まちの潜在資源を活用して、地域の経営課題を解決していく手法。

福岡 正康 議員

質問項目

- 農林業を営む者の思いへの対応
- 公共施設と危機管理・地域振興・福祉計画



問 農林畜産業を営む人の思いに伊賀市はどのように応えているか

一俵当たり500円を支援することは、米販売農家にとって次期作に希望をつなげる支援でした。畜産業を営む者にとっては糞処理が、林業に関しては、従事者の減少及び林業の衰退が大きな課題です。

それぞれどのような支援を考えていますか。

答 人々の思いに応えられるよう努めます

ラジコン草刈り機や農業用ドローン等の機械購入に対して、本年度より助成率を40%にしたことや、国県の高率補助を受けられる組織の育成に努めています。畜

産臭気の低減に向けて関係者と検討していきます。

問 公共施設のあり方は

青山上津体育館等拠点避難所で雨漏りしている施設や、目的外利用の福祉施設がある。適切な運用をしていくべきではないか。

答 見直しも含め検討していきます

一般質問

上田 宗久 議員

質問項目

- 第6波コロナ禍の地域医療と自宅療養中の子ども



問 上野総合市民病院の救急医療体制の現状は

上野総合市民病院では昨年6月と12月に2名の常勤医師が退職されました。そのうち1名は救急専門医の資格をもつ外科医師であり救急部長でした。救急部長退職後の救急医療体制について教えてください。

答 常勤医師と非常勤医師で、交代で対応しています

日勤帯は院長を中心に常勤医師で、時間外・夜間は非常勤医師で対応しています。

問 常勤医師の年度途中での突然の退職理由は

救急部長医師が12月途中で退職された

のは如何ほどの理由がおりでしょうか。

答 退職理由は「家庭の事情」と聞いています

問 コロナ禍での小児を含めた入院診療の現状は

コロナ禍において伊賀市でも小児の患者数が増加しており、学級閉鎖などが相次いでおります。小児を含めた救急医療体制をより安心なものにする必要があると思っておりますが、市民病院小児科の入院診療の現状を伺います。

答 小児科は常勤医師1名のため、入院患者さんを受け入れていません

桃井 弘子 議員

質問項目

- 地域内経済の活性化



問 おくやみハンドブックに空き家に対する啓発も記載すべきでは

答 おくやみハンドブックは本年秋に発行を予定しています

空き家の利活用や適性管理の内容を盛り込む計画です

問 現在の伊賀市空き家バンク制度は居住目的のみの利用に限定しているが、店舗など多目的な利用ができるようにすべきでは

答 飲食店など居住目的以外のニーズが高まっていることから、伊賀市の適正な土地利用に関する条例に留意しながら、幅広い用

途に活用できるように要綱改正を行います

問 伊賀市起業・事業承継促進事業補助金を通年にすべきでは

補助金利用者が増えることにより、市内は活性化し賑わいが取り戻せると思っております。より多くの方に起業また事業改善するために利用していただき、市内の賑わいを取り戻すため、補助金制度を通年にすべきでは。

答 通年化を検討します

起業・事業承継促進事業補助金について拡充すべきであると考えており、財政部局と調整して事業の通年化を検討します。

西田 方計 議員

質問項目

- 水平社100年、伊賀市行政がめざすもの
- やむを得ず登校できない児童生徒への学習指導
- きじが台団地の出入路
- 来年度からの生涯学習・地域支援の準備



問 水平社宣言の認知度向上、「本人通知制度」の周知を

意識調査の結果に基づき、部落差別をなくすための行政を進めていただきたい。

答 いっそう啓発活動に力を入れます

身元調査抑止のため、本制度をさらに工夫し啓発します。

問 ICT技術による個々に応じた教育支援を

「やむを得ず登校できない」子どもへの支援の方向性をうかがいます。

答 個々の状況に応じ対応を進めます

効果的にタブレットの学習を取り入れ、保護者と連携し継続的な支援を進めます。

問 きじが台団地の出入路の改良を 消防車や救急車、スクールバスの運行上 の問題点解消策を講じられたい。

答 できる限りの改善策を見つけ実行します

県道完成まで地元と懇談を密に進めます。

問 生涯学習推進のため、講師人材の登録を

新体制のもと、積極的に公募をされたい。

答 人材リストを充実させていきます

各地区公民館の講師の情報をまとめ、生涯学習支援員が活用できるようにします。

一般質問

近森 正利 議員

質問項目

- 学校教育
- 特定技能外国人の
人材登用



問 外国人の特定技能制度を活用した人材登用を

日本の人材不足を解消するため、在留資格「特定技能資格制度」が整備されました。14の業種で外国人就労が可能となり、外国人労働者の採用を検討している企業にとっては、人材獲得のチャンスです。

特定技能を取得した外国の若者が、日本で介護の仕事をするのを希望し、親孝行したいという目的を持っています。

市内では、将来的に介護従事者不足の不安を抱えている事業者もあり、広く介護保険事業所に周知を進めていくべきです。

答 制度の活用の更なる周知啓発に努めたい

市内15の社会福祉法人が、「社会福祉法人連絡会」を組織し、外国人が働くPR動画をYouTubeで配信しています。

現在、新型コロナウイルス感染症により海外受入制限がありますが、緩和後は外国人介護人材が来ることが予想されます。雇用を検討している施設もあり、厚労省や県と共に、事業所に対して制度活用の更なる周知啓発に努めたいと考えています。

百上 真奈 議員

質問項目

- 地区公民館廃止後の
図書室
- 地区公民館廃止後の
公民館事業
- 市営住宅の管理



問 図書室の昼の休館は住民サービスの低下では

4月から地区公民館廃止に伴い、併設の図書室が昼の1時間休館になります。これは市民の学びの場を奪う人権問題です。

図書室スタッフの休憩と図書室サービスの両方を満たす形にすべきです。

答 今後、総合的な図書館サービスを検討します

当面は、上野図書館と連携しサービスが低下しないようにします。

問 改良住宅の管理は適切ですか

伊賀支所管内の改良住宅は、行政による増改築が繰り返され、建設時1棟2住戸の住宅の多くが1棟1住戸になっています。現在も1棟2住戸として管理していますが、見直すべきです。

上野支所管内の改良住宅は、公平公正でない住宅利用の情報があります。入居実態の把握と改良住宅の必要性の見直しが必要と考えます。

答 管理運営の見直しを進めます

実態に応じた管理運営に見直します。公平公正な住宅行政のためには、第三者委員会も必要と考えます。

釜井 敏行 議員

質問項目

- 朝古川浄水場廃止と
今後の水道行政
- 伊賀市における「部
落差別をはじめとする」の文言
- 加齢性難聴者の補聴器
助成制度



問 送水コストの長期的な比較は

長期的には、朝古川浄水場を活用した方が、ゆめが丘からの送水より安くなるのでは。

答 計算していません

朝古川浄水場は廃止を決定しているので、15年間の水道事業基本計画以降の計算はしていません。

問 自治基本条例審議会での議論を受けての対応は

自治基本条例に「部落差別をはじめとする」という文言を入れることに審議会でも多数の反対意見が出されているが、どう対応するか。

答 しっかり説明し、議論します

我々の考えをしっかりと説明し、市民の意見もふまえて議論を進めます。

問 差別撤廃条例に「部落差別をはじめとする」という文言はなぜ必要なのか

答 条例の前文で述べられています

問 加齢性難聴者への補聴器助成制度を

認知症予防、地域活性化のため加齢性難聴者への補聴器購入の助成を行っては。

答 現時点では行いません

意義は理解しています。様々な取り組みを進めていく中で今後研究等を行います。

一般質問

西條
エリ子
議員

質問項目

- 過疎地域の追加指定
- 防災
- コロナ禍における教育現場のICTの活用



問 過疎地域の追加指定は

過疎地域の追加指定の経緯、今後の進め方、財政上のメリット、廃校の利活用等に使えるのかお伺いします。

答 令和4年4月に過疎地域として旧阿山町、旧大山田村、旧青山町が追加指定に

令和2年の国勢調査結果により、人口減少率が基準値より高くなり追加指定となりました。

今後は、令和3年度に島ヶ原地域の過疎指定時に策定された「伊賀市過疎地域持続的発展計画」に追加指定された地域の声を伺いながら、取組を加えた計画の変更をします。

財政的には、新たに活用できる財源として、過疎対策事業債や過疎地域持続的発展支援交付金があります。過疎地域に数多くある廃校舎や使用されない家屋等遊休施設の有効活用する財源として過疎債の活用が可能であります。

また、民間事業者が廃校を利活用する場合、業種や規模等の要件がありますが、3年間、固定資産税が課税免除される制度もあります。

北森
徹
議員

質問項目

- 成人式開催内容の1部、2部構成



問 二十歳のお祝いは自分たちですということですか

伊賀市では民法改正で18歳成人という理由で、18歳成人式を予定しているが、二十歳でのお祝いはしないのですか。

また、18歳成人の告知は義務だと言ったが、18歳成人式はどのようにするのですか。

答 我が国は、法治国家ですから法律改正でその意義が変われば、それに基づき市として18歳で成人式を行います(市長)

二十歳でどうしても実施したいということであれば、激変緩和で二十歳の集いとして実行委員会を立ち上げてしていただくこと

も、できる範囲で支援します。

また、告知は義務ではなく事務です。民法改正後の18歳成人式についても、これまで同様1部、2部で構成する成人式を行うことに変更ありません。

問 成人年齢と成人式とは意味合いが違う

そもそも次世代を担う青年たちを励まそうと行うのが成人式の始まりであり、生涯学習や地域活性化の祝典です。伊賀市は、成人式で何を求めているのですか。

答 民法が145年ぶりに改正され、世界基準になったことに合わせて、若い人たちに新しい歩みをしてもらうことが意義です(市長)

北山
太加視
議員

質問項目

- 伊賀市の下水道事業
- 障がい者の就労



問 上野市街地の下水道整備方針と事業化の時期は

上野市街地は下水道整備から90年を超え老朽化は否めない。更新事業の見通しと目安は。

答 令和5年度の事業採択と諸手続を進めます

老朽化する雨水管の更新のため雨水対策事業を実施します。令和5年度に事業採択と事業計画策定、都市計画決定へと諸手続を進めます。

問 障がいのある人の働く意欲を支える体制は

障がいがあっても働ける・働きたい・自立したい等の意欲を持つ人への支援体制は。

答 就労や生活をサポートする「働くを学ぶ」福祉型カレッジが4月に開設されます

市内には、A型4ヶ所、B型16ヶ所の通所事業所があります。福祉型カレッジを維雅幸育会が開設するなど、自立支援、働き続ける支援体制の充実に取り組んでいきます。

一般質問

森中 秀哲 議員

質問項目

- 不適切な分割発注・見積取得の実態調査と再発防止策



問 調査で判明した事実は

12月議会の一般質問で問題を指摘しました。その後の調査状況はどうなっていますか。

答 対象を絞り込み、内部で精査中です

分割発注の疑いについては抽出した284件について、1事業者に他者分まで見積取得を依頼するという不適切な慣行についてはマニュアルに沿った事務処理でなかった約800件の発注について、内部委員会で精査を進めています。

外部委員による入札等監視委員会では前回質問のあった随意契約10件のうち2件について、「公正入札の観点を入れ

るべきだった」と厳しい指摘がありました。

問 再発防止はどのように進めますか

答 3月下旬には調査を終え、報告します

3月下旬には調査結果と分析、改善方法などを議会に報告します。議員から提案のあった「地域維持型契約」「オープンカウンター」など簡便で透明性の高い発注方式導入も含め、改善を検討します。(総務部長)

トップとして、迅速・的確・しっかりと調査を行うよう指示しました。今後、職員へのコンプライアンス意識の徹底を図ります。(市長)

西口 和成 議員

質問項目

- 安心・安全な地域社会づくりを目指して



問 公共施設における防犯カメラ設置の現状や今後の方向性は

答 今後、各施設の必要性に応じて設置していきます

公共施設の警備は、原則、機械警備を実施しています。防犯カメラの設置場所は、施設利用者のプライバシー保護に配慮し、防犯上必要な場所に設置しています。

問 地域における防犯カメラの設置に市単独補助金を導入しては

防犯対策として地域では住民自治協議会や自治会が、青色防犯パトロールや登下校時の見守りなどに取り組まれています。

答 他市の事例で導入の実績や効果を十分勉強していきます

市単独の補助メニューは検討していますが、設置が地域の課題解決にむけ、必要との合意形成が図られれば、地域包括交付金等の活用を検討していただきたいです。

問 そもそも防犯対策の議論の所管はどこですか

総合危機管理課や企画振興部、市民生活課や教育委員会と多岐にわたっています。組織としてワンストップの窓口が必要です。

答 市民生活課(令和4年4月から住民課)です

業務を集約します。

増田 雄 議員

質問項目

- 四季を実感できるまちづくり
- 大阪・関西万博を見据えたにぎわい創出



問 四季の実感できるまちづくりを

伊賀市内の過疎の指定地域が拡大する中、住民自治協議会単位で遊休農地等を利用して、四季の植栽を自治協が計画検討し、整備にかかる初期費用を市が企業版ふるさと納税を募って財源とし、整備後もPRなど側面的に支援する共創の事業に取り組んではどうか。

答 自治協自ら実践するまちづくりが、活性化につながります

企業版ふるさと納税の活用は有効な手段であり、地域が提案し、自治協が実践するまちづくりが、住民自治活動の活性化につながります。

地域の取り組みが進めば、旅行雑誌・旅

行会社等にも働きかけて誘客につなげます。

問 大阪・関西万博を見据えた賑わい創出を

答 「伊賀市観光振興ビジョン」に位置づけ、重要な中間地点として取り組みます

策定中の「ビジョン」に2025年の万博を重要な中間地点と位置づけ、にぎわい忍者回廊事業の開業を見据えて取り組みます。

伊賀市子どもたちをはじめ市民の事故や怪我を未然に防止すること及び通学路における危険箇所の早期改善・改修を目指す提言

令和3年9月定例会で可決された決議について、教育民生常任委員会での所管事務調査後、市内全ての小学校を全議員で分担し訪問、通学路点検を行いました。これらの結果を踏まえて政策討論会で協議し、提言として取りまとめ、令和4年3月24日、市長及び教育長に提出しました。

【提言内容】

①交通安全プログラム危険箇所の公表及び抽出強化

交通安全プログラムで挙げられている危険箇所や対応状況等について、情報が一般に公表されていないことから、地域や保護者等が自分たちの意見がどこまで反映されているのか分からない状況であると考えられる。よって、当局は、できる限り詳しい情報を公表すると共に、地域や保護者等の意見がより反映できる仕組みに改善することで、危険箇所抽出の強化に努めるよう求める。加えて、対策不可能でありながら危険なままとなっている箇所についても公表し、児童・生徒、保護者、地域、ドライバー等に対して周知していくことを求める。



②横断歩道等の白線の整備

横断歩道等の白線の引き直しについては、国が重点的に予算措置を行っていることから、必要な箇所について、早急に要望していくよう求める。

③通学路における事故報告の活用

通学路における事故報告を各学校が共有することで傾向などを掴み、より適切な対策や対応が可能になると考えられる。また、年度当初に事故が多い傾向もみられることから、年度末や年度初めにかけて、保護者に対して過去の事故についての情報提供や啓発を強化すると共に、自転車損害賠償責任保険等の加入についても説明を行うことを求める。

④キッズゾーンの更なる整備

キッズゾーンの表示については、全ての保育所（園）のお散歩コースで整備されていないことから、在籍する児童数等に関係なく全ての保育所（園）のお散歩コースで早急に整備されることを強く求める。

⑤財源の確保

交通安全プログラムの危険箇所抽出の強化に伴う修繕箇所の増加や全保育所（園）へのキッズゾーン整備に対応するための財源確保及び緊急的に危険箇所の対策が必要となった場合等の財源確保について検討を求める。



議会図書室で「政務活動費収支報告書」を公開します

各議員より提出された令和3年度の収支報告書等の写しが閲覧できます。

公開の目的	政務活動費の使途の透明性を確保するとともに、広く市民の皆さんに議員の調査研究活動等を知っていただくため。
閲覧の方法	場所：議会図書室（市役所本庁舎5階 議会事務局内） 時間：8時30分～17時15分（土・日・祝日、年末年始を除く。）
閲覧の対象となる文書	①収支報告書 ②行政視察報告書 ③研究研修報告書 ④政務活動費明細書 ⑤領収書又はこれに準ずる書類 ⑥その他添付書類
閲覧の開始時期	令和3年度分は 5月25日（水）から閲覧可能。
閲覧の注意事項等	1. 閲覧書類を閲覧場所の外へ持ち出すことはできません。 2. 閲覧は無料ですが、コピーを希望される場合は、A3以下（白黒）一面につき10円が必要となります。 3. 文書の記載内容に伊賀市情報公開条例に規定する非公開情報が含まれている場合は、その箇所のみマスキング（墨塗り）をしています。
その他	市議会ホームページでは、6月中旬に公開を予定しています。

くじ引きで当選人を決定

令和3年3月の伊賀市議会議員選挙結果をめぐり、北山 太加視氏と福村 教親氏の得票が同数だったとする裁判所の判決が確定したことを受けて、令和4年4月8日ハイトピア伊賀にて選挙会が開催されました。くじ引きの結果、北山 太加視氏が当選人と決定しました。

会派の構成に一部変更がありました

政策を中心とした同一理念を共有する2人以上の議員で構成し活動するグループとして会派が存在します。すべての議員が会派に属しているわけではありません。

（令和4年4月15日現在）

会派名（50音順）	結成の目的	所属議員 ◎は代表者
草の根・無所属フォーラム	多様性、持続可能性、平和を大切にすまちづくりを目指す	◎宮崎栄樹 西田方計 森中秀哲
公明党	結党以来のスローガン「大衆とともに」をモットーに、政治を庶民の手に取り戻し、庶民を守り、地域住民に寄り添い働くため	◎赤堀久実（近森正利） 中谷一彦
自民絆	未来に対する責任ある政策提言を行い、もって安心・安全・持続可能な伊賀市を目指す	◎市川岳人 西條エリ子 増田 雄
市民の風 いがラボ	市民目線で政策提言するとともに議会改革を推進する	◎山下典子 北山太加視 濱瀬達雄
新政会	コロナ禍を見据えた伊賀市の創生	◎北森 徹 川上善幸 西口和成
政策集団 未来共創	守るものと、変革するもの、両方から伊賀市の成長を議論する	◎田中 覚 桃井弘子
日本共産党伊賀市議団	市民のいのちと暮らしを守る防波堤としての役割を果たし、よりよい伊賀市政実現のため、積極的に提案をおこなう	◎百上真奈 釜井敏行
会派に所属していない議員		福岡正康 上田宗久 中岡久徳

※議長は会派に属さないことになっているため、（ ）で表示しています。

広報広聴委員の紹介



宮崎栄樹 釜井敏行 百上真奈
西條エリ子 西田方計 西口和成 増田 雄
(委員長)

今年度の広報広聴委員が決まりました。議会をより身近に感じていただき、議会と市民の皆さまをつなぐ広報紙として、分かりやすく読みやすい紙面づくりに委員一同取り組んでまいります。また、市民の皆さまのお声を形にし、寄り添っていく広聴機能も充実させ、これからも開かれた議会を目指してまいりますので、たくさんのご意見をお寄せください。よろしくお願いいたします。

(広報広聴委員長 西口)

令和4年6月定例会日程 (予定)

6月6日(月)	本会議(開会)
13日(月)	本会議(一般質問)
14日(火)	本会議(一般質問)
15日(水)	本会議(一般質問)
16日(木)	本会議(一般質問)
17日(金)	予算・決算を除く 各常任委員会
20日(月)	予算・決算を除く 各常任委員会
21日(火)	予算常任委員会
27日(月)	本会議(閉会)

※本会議と予算常任委員会は、午前10時から始まります。その他の各常任委員会は、開会日に決定します。

※定例会の日程は、変更になる場合があります。
※コロナ禍における傍聴に関する情報は、直近の市内での感染状況を踏まえ、随時「伊賀市議会ホームページ」でお知らせします。

会議の内容を閲覧できます

市議会本会議等の会議録は、伊賀市ホームページや議会図書室(冊子)でご覧いただけます。

令和4年3月定例会の会議録は6月6日以降となります。また、会議の様子は、YouTubeにて録画配信もしています。ぜひチャンネル登録をお願いします。

「伊賀市議会チャンネル」
(YouTube)はこちら→
(伊賀市議会ホームページ内)



ご感想をお寄せください

議会だよりや議会のテレビ放送、YouTubeをご覧になったご感想やご意見をお寄せください。

郵送 〒518-8501 伊賀市議会事務局
「議会だより感想」宛

TEL 0595-22-9687

E-mail gikai@city.iga.lg.jp

FAX 0595-24-7901

ホームページ <http://www.city.iga.lg.jp>

※伊賀市議会だよりの点字版・録音版を希望される場合は、上記までお問い合わせください。



編集 後記

昨年度は、広報小委員長としてより良い紙面作りに取り組んでまいりました。また、三重県まん延防止等重点措置等でお邪魔できない地域もありましたが、住民自治協議会を対象とした地域意見交換会を開催し、市民の皆さまのご意見を直に聴かせていただいたことは、今後の活動の糧になると思います。ありがとうございました。(旧広報広聴委員会 副委員長 山下)

次号は8月1日です

発行：伊賀市議会 編集：伊賀市議会広報広聴委員会